



たかおかだより 5月

(文責:佐藤) [高丘小 Facebook ページ](#) →

交通安全教室～自分の命と家族の生活を守るために～



4月下旬から5月上旬にかけて、各学年で交通安全教室を実施しました。新しい学年に慣れてくると気持ちも緩んで小学生の交通事故が増えてくる時期と言われています。今週行われる学校安全連絡会では、学校や警察、PTA、地域の方それぞれの立場で子どもたちの安全を守っていくことを確認する予定です。子どもたち自身の交通安全への意識と周囲のサポートで、交通事故ゼロの1年にしましょう。

- ★1・2年生は地域探検や遠足等の校外学習の中で正しい歩行の仕方、横断歩道の渡り方等を学びます。自分の力で安全を確認しながら、事故に遭わない歩き方を学習しましょう。
- ★3・4年生は校庭で交通指導員の方をお招きし、実際に自転車に乗り、運転技術の確認と信号機を含む横断歩道での正しい自転車通行について学びました。
- ★5・6年生は体育館で長野県交通安全教育支援センターの指導員をお招きし、内輪差によって巻き込まれる自転車事故とダミー人形との衝突実験を見学することを通して、安全への意識を高めることができました。

【保護者の皆様へ＝自転車に乗る前に必ずご確認ください】

～その1 自転車に乗る際は「ヘルメット着用・点検」を～

ヘルメットは必ずかぶりましょう。道路交通法では「児童又は幼児を保護する責任のある者は、児童又は幼児が自転車を運転するときは、当該児童又は幼児に乗車用ヘルメットをかぶらせるよう努めなければならない。」とあり、保護者の義務となっています。ヘルメットはもちろん、ブレーキなどの点検も確実に行ってください。



～その2 「自転車保険のご加入」もお忘れなく←こちらは保護者の方の責任となります～

自転車保険の加入は義務化されています。小学生の児童が歩行者を自転車ではねたことにより保護者へ高額な賠償金支払いが命じられたケースもあります。家族の生活を守るための保険加入のご確認をお願いします。

～その3 子どもだけで自転車に乗ることのできる範囲のご確認を～

学校では自転車乗りの範囲が決められています。お子さんと一緒に確認をお願いします。

全校で守りましょう。お家の方もご確認・ご指導お願いします。

- 4～6年生は、保護者の許可を得れば、校区内の道路で自転車に乗ることができる。
ただし、オリンピック道路・トンネルは乗らない。県道は学校側（北側）の歩道を通る。
- 3年生は、安全教室（今年は5月2日）の後から、保護者の許可を得て、道路で自転車に乗ることができる。また、保護者と一緒なら校区内の道路で自転車に乗ることができる。
ただし、オリンピック道路・トンネルは乗らない。県道は学校側（北側）の歩道を通る。
- 1・2年生は、保護者と一緒なら、校区内の道路で自転車に乗ることができる。

みなさん、おはようございます。

今日は、5月21日です。今は「人権教育旬間」です。言い直すと、「なかよしについて考えようウィーク」です。

まず、最初に、嬉しいことがあったのでお話します。昇降口に置いてあるお花にお水をあげようとしたら、誰かお水をあげてくれた人がいたようなのです。誰だろうと考えました。委員会の人かな、先生かな、玄関掃除の人かな、と考えたけれどわかりません。でも、水をあげてくれた人は「そこにお花があると気づいた人」「水をあげた方がいいと思った人」そして「自分から行動してくれた人」です。そういう人が高丘小学校にいるということが、校長先生はとても嬉しかったです。高丘小学校は、素晴らしい学校だと思いました。

高丘小学校が、もっともっと素晴らしい学校になるように、今日は一つ考えてもらいたいことがあります。みなさん、『あいさつ』をしたほうがいいのはなぜでしょうか。時間をとるので、自分の心の中でお話をしてみましょう。（一人ひとり考える時間をとりました。）誰かお話ししたい人はいますか。

<子どもたちの考え>

☆元気になるため ☆みんなの元気の源 ☆あいさつをしないと元気かわからないしあいさつを返してもらわないと悲しい ☆気持ちがいいから ☆相手を大切にするため ☆相手を思っていると気持ちがいいから ☆朝のあいさつで楽しく学校生活ができると思うから ☆遊び相手が増えるから

隣の人や周りの人と「私はこう思った」とお話しできますか。（子ども同士で自分の考えを伝え、聴き合いました。）まだまだいっぱい考えがありましたね。

『あいさつ』をするときは必ず相手がいます。ですから、『あいさつ』は、「私はあなたに気付いていますよ」と認めていることにもつながります。また、『あいさつ』は、初めて会った人とお話をするきっかけにもなります。『あいさつ』をすると喜ばれるということもありますね。他にも「あいさつは世の中を変える」ということもあります。長野県は、横断歩道の前に歩行者がいるとき、全国で一番車が停まってくれる県です。『全国で一番』の理由として、横断歩道を渡った小学生がおじぎをして「ありがとうございます」と伝えるので、運転手さんは「また停まろう」と思うのだと言われています。校長先生は、『あいさつ』は「なかよしの第一歩」なのだと思います。「相手の目を見て」「いつでもじぶんから」「さきに」「つづけていこう」をすると、もっとなかよしになっていくと思います。風邪をひいて声が出ないときは、相手の目を見てにっこりしたり、会釈をしたり、手を振るなどの声を出さない『あいさつ』でもいいと思います。学校でも地域でも『あいさつ』をして、車が停まってくれる、みんななかよくなる地域や学校になったらいいと思います。ぜひ、今日から『あいさつ』自慢の高丘小学校にしてほしいです。「相手の目を見て、先に自分から」を続けていきましょう。校長先生もあちこちで、「高丘小学校は『あいさつ』自慢の素晴らしい学校です」と言ってもいいですか。児童玄関に貼ってある「思いやり笑顔あふれるみんなが楽しい高丘小学校」になるための第一歩は、『あいさつ』自慢の高丘小学校になることだと思います。今日からやっていきましょう。

「あいさつは なかよしの 第一歩」
あいさつ
あ 相手の目を見て
い いつでも じぶんから
さ さきに
つ つづけていこう



うれしいことが ありました。



みず お水を あげてくれる ひと いるみたいです。

「相手の目を見て、先に自分から」を続けていきましょう。校長先生もあちこちで、「高丘小学校は『あいさつ』自慢の素晴らしい学校です」と言ってもいいですか。児童玄関に貼ってある「思いやり笑顔あふれるみんなが楽しい高丘小学校」になるための第一歩は、『あいさつ』自慢の高丘小学校になることだと思います。今日からやっていきましょう。

思いやり 笑顔あふれる
みんなが楽しい高丘小

地域のみなさまも、子どもたちが自分からあいさつする姿を見かけたとき、「気持ちがいいね」「いいあいさつだね」とお声がけください。